

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	適正処理対策室
	施策	廃棄物の適正処理		電話番号	087-839-2370
	基本事業	ごみの適正処理の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ごみ適正処理指導事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市内約 8,000 箇所のごみステーションを適正に管理するため、家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報紙を通じて、市民への周知・啓発に努めるなど、ごみに関する意識の向上を図り、ごみステーションへ出される不適正ごみの削減を進める。		
29年度概要	ごみステーションの適正な管理を行うため、監視パトロールや看板の配布等の啓発活動を継続する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


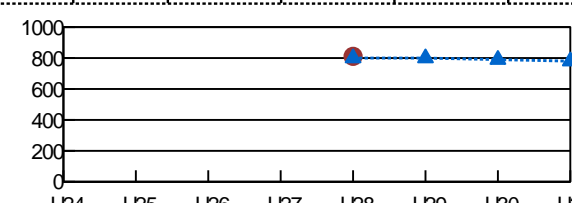
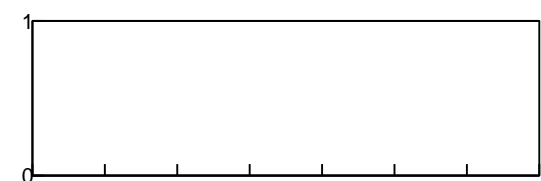
【事業の目的】

対象(何を)	市内全域のごみステーション
意図(どのような状態にしたいか)	ごみステーションの管理者や使用者の環境美化意識の向上を図り、適正なごみステーション管理を行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
ごみステーションパトロール件数	ヶ所			8,062	8,050	8,100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	不適正管理ごみステーション対応件数	件	目標値			800	800	750
			実績値			811		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 不適ごみが出ているごみステーションがなかなか無くなること無いため、適正なごみの出し方について指導し、市民のごみに対する意識の高揚を図る。 							(達成度) 98.6%
								34点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	130,512	137,434	139,819	139,971
(事業費)	[円]	3,559	5,390	4,782	4,934
(職員人件費)	[円]	126,953	132,044	135,037	135,037

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

ごみの分別が出来ていないものや指定有料袋に入れていないなどの不適正ごみをごみステーションに出しているケースが多く、特に引っ越しが多い3月から4月頃が多く発生している。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

不適正ごみの排出者に対し、文書による個別指導を引き続き行うとともに、特に、住宅管理者に対しては、入退去時に、適正なごみの出し方の説明を行うことが効果的であるため、説明会での周知・徹底を依頼する。
また、市政出前ふれあいトークや環境学習などの体験型事業による啓発を通じて、事業者・市民のごみに関する意識の向上を図る。